

礼文島 桃岩展望台コース

北海道 礼文郡礼文町 2024年 6月4日

日本海に位置する最北の離島



桃岩(ももいわ)展望台から海を見下ろす(右:桃岩 中央海面:猫岩)

本日のコース <全行程 2時間55分>

香深港フェリーターミナル 11:55 <礼文ハイヤー利用> → レンジャーハウス 12:09 →
桃岩展望台 12:22 → <稜線歩き> → 桃岩展望台 13:44 →
レンジャーハウス 13:51 → 香深港フェリーターミナル 14:50

今回は家内と二人で4泊5日の北海道旅行。

その途中で立ち寄ったのは、以前から気になっていた礼文島&利尻島。

礼文島は「花の浮島」とも呼ばれ、地名の由来はアイヌ語の「レプン・シリ」=「沖の・島」という意味から来ているとのことだった。礼文島に到着後、まずは定期観光バスに乗り込んだが…。

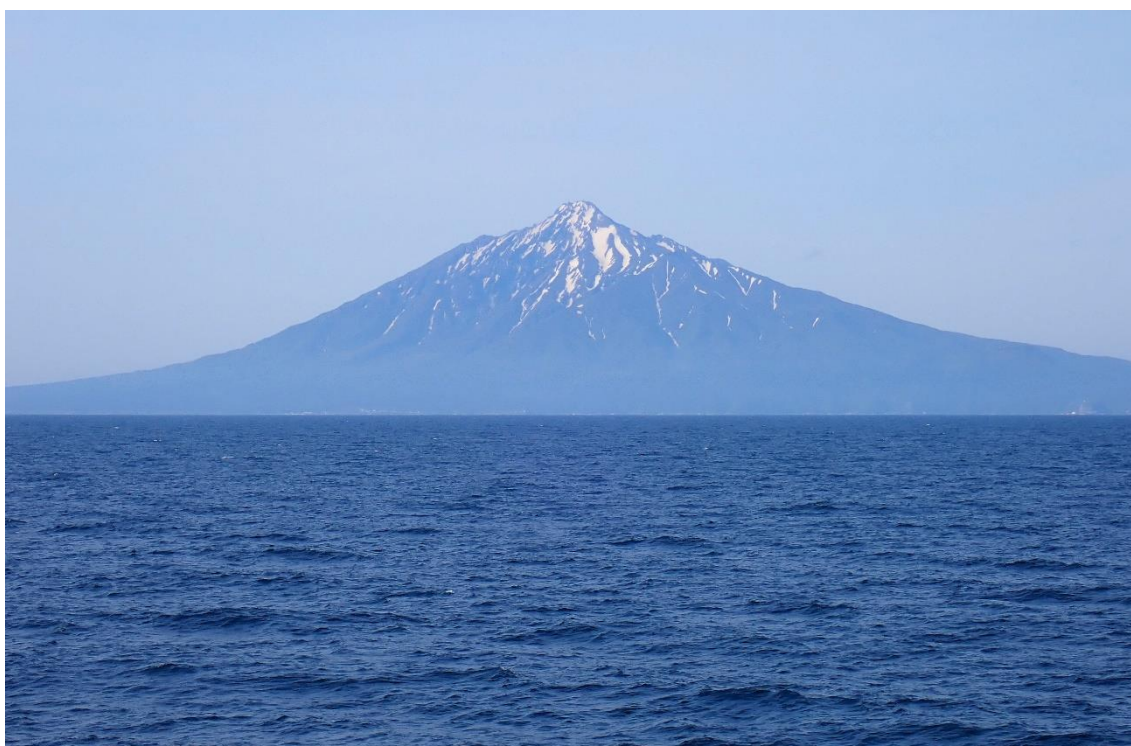
6月3日、午前中の便で羽田空港から稚内空港へ移動。JR稚内駅に到着後、定期観光バスに乗り込み、稚内市内観光や宗谷岬を楽しんだ。宿泊は稚内港近くのホテル。

6月4日、早朝**6時30分**、稚内(わっかない)港からフェリーで出航！



船内はゆったりシート(一等席)で快適。
出航後、暫くすると利尻島が見えてきた。

ザックを背負った大勢の旅行客が乗り込んだ。団体ツアー客が多い。



利尻島(りしりとう)

利尻島(利尻山)を左に見ながら礼文島(れぶんとう)へまっしぐら。

利尻島は「**夢の浮島**」とも呼ばれ、地名の由来はアイヌ語の「リイ・シリ」=「高い・島」という意味から来ているとのことだった。時折デッキに出て日本最北限の風を受けて気分は上々。



2時間弱で礼文島の香深港(かふかこう)フェリーターミナルへ到着 8:25
到着後、すぐに定期観光バスに乗り込んだ！上の写真はバスの車窓(2F)から。

定期観光バスのルートは…(①～④は最後に紹介しています)

- ① 澄海(スカイ)岬
- ② レブンアツモリソウの観賞
- ③ 最北限のスコトン岬やトド島
- ④ 桃台・猫台展望台
- ⑤ 一旦、香深港フェリーターミナルへ戻る → 途中下車して桃岩展望台コースへ
- ⑥ 映画「北のカナリアたち」(吉永小百合主演)ロケ地「北のカナリアパーク」 → 断念

「北のカナリアパーク」にも行って見たかったが…
どうしても、高山植物観賞で有名な「桃岩展望台コース」を歩きたい気持ちが強く、
一旦戻る香深港フェリーターミナルで観光バスを途中下車することにした。

次のフェリーに乗る時間まで、許された時間は約4時間。
この限られた時間を使って「桃岩展望台コース」を目指す！



香深港フェリーターミナル裏のタクシー乗り場 11:55 タクシーに乗って出発
フェリーターミナルで手配が難しいと言われるタクシー会社に電話した。手配できなければ歩くつもりだったが、幸運にも<礼文ハイヤー>が手配できた。優しい運転手さんに帰りの近道を教えてもらいつつ、桃岩口のレンジャーハウスまで連れて行ってもらった。



桃岩口のレンジャーハウス 12:07

レンジャーハウス監視員は、自然環境を保護し、違法な活動や環境への悪影響を監視します。例えば、野生動物の保護、ゴミの処理、トレッキングコースの整備などが含まれます。監視員は訪問者の安全と自然環境の保護を両立させる重要な役割を果たしています。(ネット調べ)



桃岩展望台コース(桃岩口)の説明標識

このコースは礼文島ファンを魅了し続ける花の巡礼地

礼文島南部の香深から、桃岩展望台、元地灯台を経て知床へと続く全長7.1kmのコースは、海に浮かぶ利尻山をバックに、断崖と青い海が続く礼文島西海岸を眺めながら、高山植物のお花畑を歩きます。桃岩付近一帯の野生植物は、島内でも有数の高山植物群落で、礼文島の観光スポットとして人気です。(パンフレットより)

国指定天然記念物

礼文島桃岩一帯の高山植物群落

指定年月日:令和4年3月15日

高山植物は、寒冷地に適応した植物が気候変動に伴い高山に取り残されたもので、北海道は北方系の、本州は南方系の種が多く見られます。しかし、礼文島では強い風や低温、崩れやすい地質などの厳しい環境により、海沿いの低地でも生き残りました。

また、植物が寒冷期に合わせて分布拡大と隔離を繰り返したことで、礼文島特有の南方系主体で北方系が共存する種の多様性、数々の隔離分布種や固有種・変種が生じたとされています。特に桃岩一帯は、レブンソウやレブンキンバイソウといった固有種、レブンアツモリソウなどの固有変種や隔離分布種など約90種を含む多様な群落が地形に応じてみられ、礼文島の高山植物群落を代表する場所です。(説明標識より)



「桃岩展望台コース・桃岩展望台付近に咲く花」
 さあ、どんなお花に出会えるのか？ 期待に胸を膨らませてスタート！



天然記念物 「礼文島桃岩一帯の高山植物群落」の碑
 右上から下ってくるのは、トレッキングガイド引率のツアー客
 ガイドさんから絶景風景ポイントや、いろいろなお花の名前を教えてもらって羨ましい。



レブンコザクラ

歩き始めるとすぐに可愛いお花に出会った



整備された道が桃岩展望台まで続いている 12:17 右に頭を出すのは桃岩



チシマフウロ



桃岩展望台 12:22 柵の先にある絶景に期待して進む



桃岩展望台からの眺望（左:ツバメ山や元地灯台方面の稜線 中央海の中:猫岩 右:桃岩）



桃岩展望台から桃岩を望む 12:23

桃岩は、礼文島の地層では比較的新しい時代にできたもので、地下のマグマが地表部を押し上げ冷やされながら球状の巨大な岩塊に成長したものです。表面にはタマネギの皮のような球状節理(板状節理)が取り巻き、表面のはがれ落ちた内部には、表面よりゆっくりと冷えていく速度の違いから柱のような柱状節理が見えます。(説明標識より)



桃岩展望台から稜線歩きスタート 12:28 気分爽快



レブンハナシノブ



レブンハナシノブと桃岩 12:30



柵の上から断崖を覗く 12:31



桃岩を横から見ると荒々しい溶岩の跡 12:31
以前は桃岩も山頂まで上ることが出来たそうだが、今は通行禁止となっている。



サクラソウモドキ



高山植物&眼下に日本海&起伏に富んだ断崖絶壁・・・最高のロケーションだ！ 12:41
桃岩展望台コースは風が強いと聞いていたが、今日は穏やかなお天気で本当にラッキー。



ミヤマオダマキ



器量の良いレブンコザクラ



これは何だろう？



キジムシロ



礼文島の固有種 レブンソウ



エゾノハクサンイチゲ



気持ちの良い稜線 12:46 ずっと歩いていた



レブンハナシノブがたくさん咲いている



エゾノシシウド？



元地灯台まであと1.6kmの道標 12:55



ツバメ山へ続くルートがクッキリ見える 12:57 右下の海には「猫岩」
まだまだ先へ進みたかったが、ここで証拠写真を撮ってUターン



エゾエンゴサク



オオハナウド？



オオバナノエンレイソウ



カタツムリを発見！



桃岩展望台への帰り道 13:03 中央奥に見えるのは礼文岳か？



ネムロシオガマ



ハクサンチドリ



この白い花は何？



沿道には絶えず高山植物が咲いている



ミヤマキンポウゲ？ レブンキンバイソウ？ キジムシロ？



海の色はレブンブルー

眼下に香深港が見える 13:18 あそこまで歩いて帰らなければ・・・



桃岩展望台に戻ってきた 13:25 ベンチで休憩して昼食タイム
歩いた距離は短いけど、桃岩展望台コースを歩くことが出来て大満足。



桃岩展望台より利尻山を望む 13:45 残念ながら利尻山山頂には雲がかかっている
昼食後、名残を惜しんで下山に取り掛かる。



エゾノシシウド？



柵に沿って下って行く 13:46 右に見えるのはレンジャーハウスとトイレ
往路はレンジャーハウスまでタクシーに乗ってきたが、復路は香深港フェリーターミナルまで歩くことになる。時間が読めないこともあり、安全策をとって早めに下ることにした。



道標に従って更に下って行く 14:03



下って行くと駐車場が見えてきた 14:04

自家用車はレンジャーハウスまで乗り入れが出来るが、バスはこの下の駐車場までのようだ。よく見ると、下の方からガイドさんが引率するツアー客が上ってきた。



駐車場を左に見ながら更に下って行く 14:10



背の高いタンポポ



道標通過 14:24 フェリーターミナルまであと2.4km



車道に飛び出した。目の前に墓地。 14:32 右に進む



車道を歩いて香深港へ 14:32 陽射しが強い



新桃岩トンネル(1489m) 14:33 右手にトンネルを見ながら通過
このトンネルを抜けると、「桃台・猫台展望台」へ行くことができる。



左手にある巖島神社前を通過 14:38



車道から右に下って行く 14:40 波止場が見える



お店に突き当たって左へ 14:42



突き当たったお店の角を右に曲がる



海が見えた 14:42 大通りに出て右へ



大通りを真っすぐ進む 14:33 交通量は少ない
この島には信号機が2つしかないようだ。



香深港フェリーターミナル 14:50 ゴール

定期観光バスの最終目的地である「北のカナリアパーク」を断念して途中下車。
お花に誘われて桃岩展望台トレッキングを選んだが、我々にとって結果は大満足！
晴天の中での絶景トレッキングや、多くの高山植物に出会えて悔いはない。
約3時間、とても充実した山歩きだった。お疲れさまでした。



ようこそ 花の島 礼文島

礼文町のマスコットキャラクター「あつもん」（フェリーターミナル内にて）
レブニアツモリソウの妖精です。礼文島に住む人たちと礼文島を訪れる人たちが大好きです。
心に幸せの種を持っています。



16:30発のフェリーに乗って利尻島へ。礼文島 一日ありがとう！

午前中に定期観光バスで周遊した場所

①澄海(スカイ)岬



澄んだ蒼い海(レブンブルー)と断崖絶壁が美しく、礼文島一番人気の絶景スポット。



周囲360度、どこを向いても素晴らしい風景が広がっている。

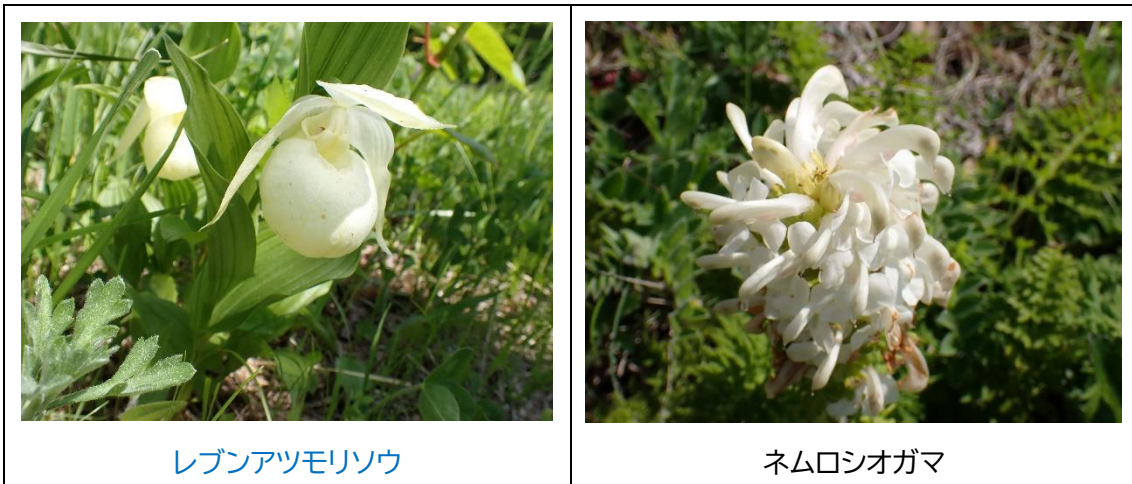
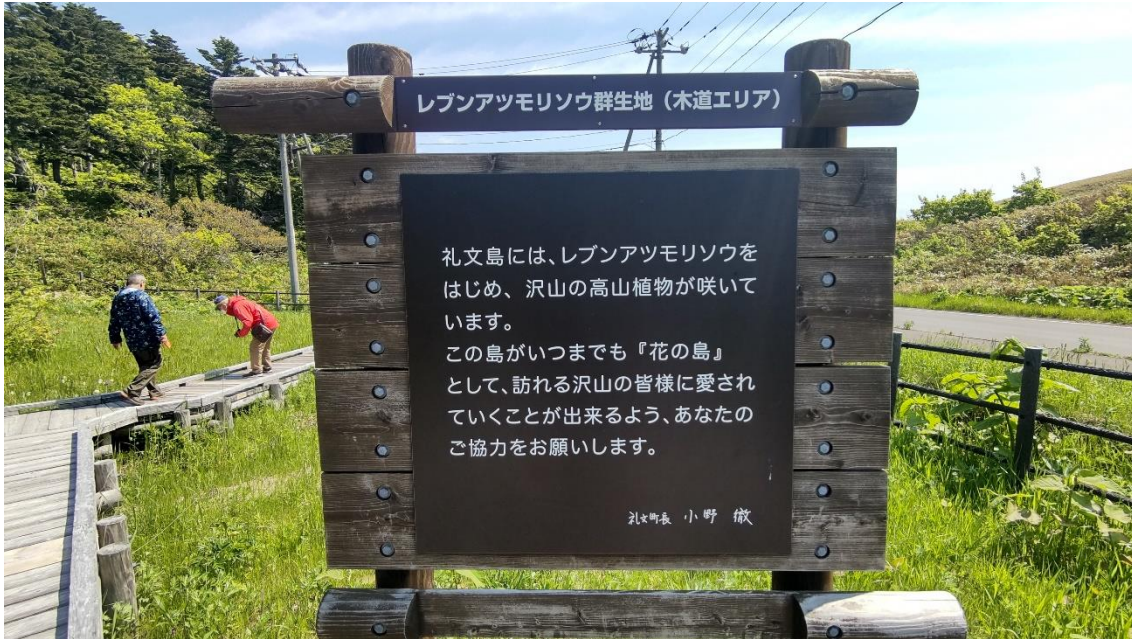
②レブンアツモリソウの観賞



レブンアツモリソウ



北海道指定文化財 天然記念物 レブンアツモリソウ群生地



礼文島の固有種 レブンアツモリソウ

<世界中で礼文島にしか咲かない花>

且つては島の各地で見られたものの、盗掘などにより今では絶滅危惧種、再び個体を増やすのは簡単ではない。

開花する時期もその周りに、この花と大きさが一緒のネムロシオガマと言う花があり、その花と間違えて入ったニセハイロマルハナバチの女王蜂が受粉していると言われている。

たまたま偶然が重なると種まで作れないという、とても貴重な花です。

関門はまだあって、発芽するのに必要な栄養を、礼文島の土にいる菌との共生によって得ているため、その菌がいる所でないと発芽できない。

そして発芽から花が咲くまでには、実に10年もの月日を要する。しかし、一旦花が咲くとその後、数十年も花を咲かせ続けるという。 (NHK:日本百名山放送の説明より)

③最北限の地スコトン岬&トド島



強風を体感できる島最北部の観光スポット。目の前に無人島のトド島を見ることが出来る。スコトン岬→「須古頓岬」と漢字で表記されることも多い。晴れた日には樺太(サハリン)が望める。スコトンとは、アイヌ語で、シコトン(大きな谷)・トマリ(入江)＝「大きな谷にある入江」という意味である。(ネット調べ)



トド島

最近NHKの放送で知ったが、このトド島でトド撃ちをする84歳のトドハンターがいるそうだ。

スコトン岬やトド島の観光後、バスに戻って「風が強いですねー」とバスガイドさんに話すと、「とんでもない、今日のスコトン岬の風はそよ風ですよ」と言われた(笑)
日頃はもっと酷い強風が吹き荒れるとのことだった。

④桃台・猫台展望台



桃岩(右) 桃の形をしているので桃岩 11:19



定期観光バスを途中下車し、午後に稜線歩きを楽しんだ桃岩展望台(赤矢印)
バスガイドさんから「今日の桃岩はとてもよく見えます。このように青空でハッキリ見えるのは、週に1日程度です。いつでもこのように見えるとは思わないで下さいね。晴れていても雲や霧が出ることが多いです。」と説明があった。今日の礼文島のお天気に感謝。



猫岩(赤矢印)



猫岩(右) 猫が背を向けて沖を見ている

以上、定期観光バスで回った景勝地はどれも素晴らしかった。
思い出に残る礼文島、大好きになりました。